

長崎市提案型協働事業 平成 27 年度実施事業

評価結果及び審査会コメント

◆評価項目及び評価結果

団体名	ながさきダンカーズ倶楽部	担当課名	高齢者すこやか支援課
事業名	長く元気で！応援事業		
評価項目		評価基準	評価
①	協働のプロセス	・目的を共有し、相互理解を深めながら、対等・自立の立場で事業に取り組んだか。 ・協定書に明記した役割分担を十分に果たし、双方に十分協議しながら事業を進めたか。	A
②	目的・目標の達成度	・事業は予定通り順調に実施できたか。 ・事業の目的や目標を達成できたか。	B
③	市民の満足度	・事業の実施により、市民の関心や評価は高まったか。	B
④	協働の相乗効果	・協働で実施することにより、事業効果は上がったか。 ・事業の質の向上や、行政・市民活動団体間のネットワークが強化されたか。	A
総括		A	

※ 評価項目における評価基準

A…大変優れている B…優れている C…どちらともいえない
D…どちらかといえば不十分である E…不十分である

◆審査会コメント

協働のプロセスについては、団体と担当課が十分に協議を重ねながら事業を進めており、お互いを理解しながら徐々に信頼関係を築いていることが評価できる。また、ガイドブックやセミナー、イベントの実施において、両者の強みを発揮することで内容を充実させることができおり、協働の相乗効果が上がっていると感じられる。

本事業では、55～65歳の現役世代をターゲットとしていることから、引き続きその世代へのアプローチ方法、特に退職後の生き方について意識していない、まだ考えていない50歳代の人たちにどうアプローチしていくかが、今後より重要となってくる。1年目の事業成果と課題をしっかりと検証し、2年目の事業に活かしていただきたい。

長崎市提案型協働事業 平成 27 年度実施事業

評価結果及び審査会コメント

◆評価項目及び評価結果

団体名	(特非)長崎ウェルネススポーツ研究センター	担当課名	健康づくり課
事業名	アクティブ世代のスポーツライフ支援事業		
評価項目		評価基準	評価
①	協働のプロセス	・目的を共有し、相互理解を深めながら、対等・自立の立場で事業に取り組んだか。 ・協定書に明記した役割分担を十分に果たし、双方に十分協議しながら事業を進めたか。	A
②	目的・目標の達成度	・事業は予定通り順調に実施できたか。 ・事業の目的や目標を達成できたか。	B
③	市民の満足度	・事業の実施により、市民の関心や評価は高まったか。	A
④	協働の相乗効果	・協働で実施することにより、事業効果は上がったか。 ・事業の質の向上や、行政・市民活動団体間のネットワークが強化されたか。	B
総括		A	

※ 評価項目における評価基準

A…大変優れている B…優れている C…どちらともいえない
D…どちらかといえば不十分である E…不十分である

◆審査会コメント

協働のプロセスについては、目的・課題等をお互いに確認し、よりよい事業になるよう適宜協議を行い、実施内容を見直しながら取り組んでいることが評価できる。また、団体・行政がそれぞれの役割を十分に果たすことでノルディックウォークが徐々に市民に認知されてきており、相乗効果が上がっていると感じられる。

本事業の目的である「50～65 歳の方のスポーツの習慣化」につなげていくため、ターゲット世代の参加が増えるようさらに工夫しながら今年度の事業に取り組んでいただくとともに、健康づくりの手段のひとつとして「ノルディックウォーク」を今後どう活用していくかを検討していただきたい。